

町議会12月定例会での、私の一般質問と町答弁の概要

12月16日（土）の休日議会で、8人が一般質問をしました。私の質問と町の回答の概要は次のとおりです。

1. 福祉・健康の増進対策について

1) 高齢な独居や高齢者のみ世帯への見守り支援・除雪支援などをどのように進めるか。

健康福祉課長 来年度から北アルプス広域連合と連携し町の介護予防・日常生活支援総合事業のなかで配食サービスでの安否確認に支援を検討している。除雪支援についても検討する。

薄井 町に隣接する自治体では、配食サービスに高齢者の健康保持の観点から弁当食材費助成などを行っている。町でも助成を。

町長 課題として研究する。

2) 「高校生通学費助成制度」創設についての教育委員会での検討結果と町の考えは。

教育保育課長 教育委員会では通学費助成を望ましいとしたが、義務教育に費用がかかるので通学費助成は実施できない。

薄井 中学校就学援助援助を受けていた世帯の高校生に月2000円程度（通学費の1/3）助成できないか。

町長 教育保育課長と同じ考えである。

3) 池田町は高血圧症・脳血管疾病・心臓病の有病率が高い。これらの疾病に影響がある食塩摂取量を抑えるため、健康診断で尿塩分検査の実施を。

健康福祉課長 健康診断結果で必要な方には尿塩分検査を行っている。減塩啓発は引き続き行う。

薄井 町の国保医療費が大きく増加している。成人病を抑えるためにも、尿塩分検査（検査予算：43万円程度）を行い、発症予防が必要でないか。

町長 多方面から研究する。

2. 町なかの活性化対策について

1) 新築のスペースゼロが「町なかの賑わい創出」・産業創出・町づくりの拠点となるよう、町は支援を。特に、移住定住職員1名・地域おこし協力隊員3名の計4名をスペースゼロに派遣を。

地域政策課長 移住定住職員の派遣は総務課の空家対策との連携できなくなるので困難である。特産品開発の地域おこし協力隊員1名は派遣する。スペースゼロの運営は町民有志で構成する「町づくり」会社の職員1名・臨時職員2名と地域おこし協力隊員1名の計4名体制で運営する計画である。

12月定例会 審議事項 の主な内容

10議案、4陳情が審議されました。詳細は後日、池田民報でお知らせします。

◎一般会計補正予算 補正額 1億3112万円

- ・障がい者福祉事業 7001万円
- ・除雪などの道路維持 2493万円
- ・ワイン用ブドウなど農業振興 551万円

○来年度、小学校入学児の就学援助金の3月支給（服部議員要求） 30万円

- 電力自由化による町関係施設の電気料軽減のためエネルギーサービスプロバイダーから電力供給を受けることを開始。年間375万円の電気料が削減できる。
- 全議員の賛成で可決、私も賛成。

◎美術館の管理者を㈱シダックスに指定する議案

- 賛成多数で可決、私も賛成。
【賛成理由】美術館の指定管理候補者選定審査会は公正に行われており、結果は尊重されなければならない。

◎地域交流センター建設工事請負契約締結の議会議決を求める議案

- ・契約者：傳刀・小山特定建設企業体
- ・契約額：10億5624万円（予定価格の98.8%）
- ・財源：国 4億2250万円、町基金 5億円
町債 1億2037万円、一般財源1337万円
- 全議員の賛成で可決、私も賛成。

◎病児保育の実施を求める陳情

- 陳情者：新日本婦人の会池田支部
【陳情内容】
・池田町と松川村で連携し、北アルプス医療センターあづみ病院の協力を得て病児保育を実施してください。
- 賛成多数で採択、服部議員も採択に賛成意見を述べる。

◎若い人も高齢者も安心できる年金制度を求める陳情

- 陳情者：全日本年金者組合大北支部
【陳情内容】
・若い人も高齢者も安心できる全額国庫の「最低保障年金制度」を創設すること。
- 賛成多数で採択、私も採択に賛成意見を述べる。
【賛成理由】年金の現況は安心して暮らせる状態ではなく、改善が必要である。